

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成28年3月31日現在)

団体名	事業名	公営企業の名称
佐渡市	下水道事業	佐渡市公共下水道

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

(現行の経営体制・手法を継続する理由)

- ・必要な知見、ノウハウの不足により、抜本的改革の実施の検討ができていないため。
- ・人員に余裕がなく、通常業務をこなすだけで精一杯であり、抜本的な改革の実施が検討できていないため。

(今後の経営改革の方向性等)

- ・低コストな資本投資や維持管理に努めていますが、地理的要因で広域化は不可、資本投資中であるため民間委託も難しい状況で、処理施設を民間に委託する現状で精一杯な状況です。